

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（グローバル展開プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

グローバル人文学：日本文学・芸術・思想の普遍性の探究

研究テーマ名

道元の思想圏：分析アジア哲学的アプローチ

責任機関

国立大学法人京都大学

研究実施期間

平成29年2月～平成31年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	出口康夫	京都大学・文学研究科・教授
グループリーダー	一ノ瀬正樹	東京大学・人文社会系研究科・教授
グループリーダー	稲賀繁美	国際日本文化研究センター・教授
分担者	藤川直也	首都大学東京・都市教養学部・准教授
分担者	護山真也	信州大学・人文学部・准教授
分担者	早川正裕	三重県立看護大学・看護学部・准教授
分担者	佐野勝彦	北海道大学・文学研究科・准教授
分担者	三谷尚澄	信州大学・人文学部・准教授
分担者	佐金武	大阪市立大学・文学研究科・講師
分担者	大森仁	日本学術振興会特別研究員(PD)(京都大学)
分担者	大西琢朗	京都大学・文学部・教務補佐

配分（予定）額

（単位：円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1,755,000円	6,821,360円	4,368,000円	2,808,000円

※平成29年度・平成30年度・平成31年度については予定額

研究目的の概要

「道元の思想圏」に焦点を当て、「分析アジア哲学」の手法を用い、そこから、形而上学・論理思想・自然観・死生観・生の哲学といった哲学の最前線を切り開く洞察を導くことで、日本や東アジアの伝統思想を現役の哲学理論として「再生」する突破口を開く。

研究計画の概要

分析アジア哲学の世界的代表者と国内外の日本思想・仏教学・死生学・文学・美学の専門家からなる学際的な研究チームを軸に、海外の代表的な研究機関との間に若手研究者の相互派遣を行う持続的な国際研究プラットフォームを構築しつつ、研究成果を英・中・日の三か国語の論文集として同時公刊する。